
IBM i PTF インストール説明書

IBM i 累積 PTF パッケージ
インストール説明書
SF99610 レベル 15063
パッケージ ID: C5063610
バージョン 6 リリース 1.0

累積 PTF パッケージ説明書 最終更新日: 2015/03/13

注: この資料は、オンライン版がマスターです。印刷されたものは最新版でない可能性がありますので、最終更新日がオンライン版のマスターと一致しない場合は使用しないでください。

この資料に記載されている情報は、この累積 PTF パッケージが利用可能になった時点の内容です。最新の情報を入手されることをお勧めします。最新の情報は、次の URL にあります。

http://www-912.ibm.com/s_dir/sline003.nsf/sline003home

この Web サイトより、「All Preventive Service Planning Documents by Release」を選択し、それから「R610」を選択してください。PSP SF98610 には、この累積 PTF パッケージに含まれていない HIPER PTF や、このパッケージのリリース後に見つかった障害の PTF のリストがあります。

V5R4M0 から、次の 3 つのフォーマットの累積 PTF パッケージから 1 つを選択して使用できるようになりました。

- 個々の PTF 保管ファイルとして電子的にダウンロードする
- 光イメージ・ファイルとして電子的にダウンロードする
- 物理的な CD メディア (電子的にダウンロードできない場合)

この文書のインストール手順では、それぞれのフォーマットに必要なインストール手順を説明してあります。

IBM i PTF インストールを始める前のご注意

すべての PTF のオーダーに関して、必ず PTF をインストールする前に、提供される各 PTF のカバー・レターに目を通し、ご使用のシステムに該当する特別な指示事項をご確認ください。この累積 PTF パッケージについては、特別な指示事項はこの文書に書かれており、累積 PTF パッケージのメディア自体には、PTF カバー・レターは含まれておりませんのでご注意ください。ただし、お客様が累積 PTF パッケージをオーダーされた際には、自動的に最新の HIPER PTF グループおよびデータベース PTF グループが、累積 PTF パッケージと一緒に送付されております。お客様は、これらの PTF グループの中で、ご使用のシステムに適用される PTF のカバー・レターをお読みいただく必要があります。PTF カバー・レターのコピーや印刷 (または表示) を行うために必要なコマンドは、下記に記載されています。

1. PTF カバー・レターをコピーするには:

- PTF の入ったメディアをマウントし、QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルでサインオンしてください。
- まだシステムに適用されていない PTF のカバー・レターをメディアからシステムにすべてコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
CPYPTFCVR DEV(device_name) LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY)
```

- 特定のカバー・レターをメディアからシステムにコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
CPYPTFCVR DEV(device_name) LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id)
```

2. PTF カバー・レターを表示または印刷するには:

- PTF カバー・レターを表示、または印刷を行う前に、メディアからコピーする必要があります。
- 現在システムに適用されていないすべての PTF のカバー・レターを表示、または印刷するためには、以下のコマンドを実行します。

```
DSPPTFCVR LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY)  
DSPPTFCVR LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY) OUTPUT(*PRINT)
```

注: DSPPTFCVR コマンドに CVRATR(*SPCINST) パラメーターを指定して、特別な指示があるカバー・レターをすべて表示することもできます。

- 特定のカバー・レターを表示または印刷するためには、次のコマンドを実行してください。

```
DSPPTFCVR LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id)  
DSPPTFCVR LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id) OUTPUT(*PRINT)
```

注意事項

以下の指示事項に従わないと、システムが作動しないことがあります。累積 PTF パッケージを導入するたびに注意深く指示に従ってください。

累積 PTF パッケージは、適切な PTF の導入後に導入する必要があります。このパッケージを導入する際にすぐに適用するオプションを使用しないでください。使用すると、予測できない結果が生じることがあります。

PTF 重要情報: この累積パッケージの PTF を適用した場合に、IBM®トランスレーターで生成されていないシステム・メモリー・アドレスを使用するような非効率的なプログラムや、対話型処理能力を購入時レベルに制限する制御技術を回避するプログラムが、使用できなくなる可能性があります。これらの PTF は、将来別の PTF の前提条件になる可能性があります。これらの PTF を適用する場合、お客様は以上のことを認め、同意されたものとします。

これらの PTF はすべて、適用されるプログラムに付帯する、もしくは含まれている、使用許諾契約書の対象となります。有効なライセンス証書を保持するプログラムの一部として PTF を使用する以外に、これらの PTF をインストールもしくは使用することは認められておりません。

強行法規がある場合を除き、また、該当する使用許諾契約書あるいは該当するサポート契約書において明示的に合意されている場合を除き、IBM は、PTF について、法律上の瑕疵担保責任を含め、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証を含む明示もしくは黙示のいかなる保証責任も負わないものとします。

適用される使用許諾契約書は、印刷物として提供されているか、もしくは「ソフトウェア契約の処理 (WRKSFWAGR)」 CL コマンドを使用して表示することができます。

Content Manager OnDemand (5761RD1) をインストール済みの場合は、以下に記載されている重要な特記事項を参照してください。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21427866>

製品をインストールされた場合は、このパッケージに入っている以下の PTF についての特別な指示事項をご確認ください。PTF のカバー・レターは以下で参照・入手できます。

http://www-912.ibm.com/a_dir/as4ptf.nsf/as4ptfhome

PTF インストールの失敗を防ぎ、必須であるすべての追加 IPL を自動化するには、この累積 PTF パッケージをインストールする「前に」、PTF SI46159 がアクティブである必要があります。以下のコマンドを入力し、PTF SI46159 がアクティブかどうか判別してください。

```
DSPPTF LICPGM(5761SS1) SELECT(SI46159)
```

状況が「一時的に適用済み」または「永続的に適用済み」の場合は、PTF はアクティブです。状況が「置き換え済み」の場合は、置き換える PTF が「一時的に適用済み」または「永続的に適用済み」であることを確認します。PTF SI46159 が見つからない、またはアクティブでない場合、この累積 PTF パッケージをインストールする「前に」、PTF SI46159 をダウンロードし、一時的に適用してください。

この累積 PTF パッケージには、特別処理の PTF (V6R1M0 システム用の MF58792、V6R1M1 システム用の MF56484) が含まれています。これは、この累積 PTF パッケージの適用が、APAR MA39373 に記述されている予測不能な結果を引き起こさないようにするためのものです。この累積 PTF パッケージの適用が遅延して (特別処理の PTF では自動的に発生する) その後パッケージを適用しようとした後に、リターン・コード X'CO' のメッセージ CPF7206 を受け取ります。追加のサポートが必要な場合、ソフトウェア・サービスのプロバイダーにご連絡ください。

ご使用のシステムに 5798FAX のバージョン V5R2M0 がインストールされている場合には、このパッケージをインストールするときにシステム値を 1 にしてください。あらかじめ元の値を書き留めておいて、インストール完了後に QFRCCVNRST の値を元に戻してください。

この累積 PTF パッケージのインストール時間は、およそ 3 ~ 5 時間です。

このパッケージを適用する前に、現行システムのバックアップをとっておく必要があります。最後に PTF をインストールした以降に、システムのバックアップがとられていれば、そのバックアップを使用できます。

制御パネルで IPL モードが通常 (N) に設定されていることを確認してから、QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルでサインオンします。

どの手順もいったん開始したらキャンセルしないでください。各手順が正常に完了するようにしてください。

ご使用の累積 PTF パッケージのフォーマットに合わせて、以下のインストール手順から適切なものを選択してください。

PTF のインストール処理において、適用可能な場合に自動的に事前適用される PTF は、以下のとおりです。5761SS1 PTF SI41481、および SI50906。5761999 V6R1M0 PTF MF48000、MF58792、MF51906、および MF53679。5761999 V6R1M1 PTF MF48001、MF51907、MF53680、MF56191、および MF56484。注: 手動で事前に適用される必要のある PTF は、この「注意事項」セクションの初めにリストされています。

光イメージ・ファイルからのインストール

この手順は、光イメージ・ファイルとして累積 PTF パッケージをオーダーして電子的に受け取った場合に使用してください。

1. イメージ・カタログを作成して、イメージ・ファイルをカタログに追加します。イメージ・カタログの作成方法については、IBM Knowledge Center (http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ssw_ibm_i_61/rzam8/rzam8fixinstallimage.htm) を参照してください

(IBM i 6.1 > IBM i および関連ソフトウェア > IBM i および関連ソフトウェアの保守管理 > ソフトウェアの修正の使用 > 修正のインストール > 手順 3: 修正のインストールのシナリオを選択する > イメージ・カタログから IBM i 修正をインストールする)。

2. 次のコマンドを使用して、イメージ・カタログを仮想光ディスク装置にロードします。

```
LODIMGCLG IMGCLG(ptfcatalog) DEV(OPTVRTxx) OPTION(*LOAD)
```

3. コマンド行に GO PTF と入力し、Enter キーを押します。
4. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
5. 下記のオプションが適切かどうか確認し、下記の「注」をよくお読みいただいた上で、「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。

```
デバイス . . . . . OPTVRTxx (例えば、OPTVRT01)
自動 IPL . . . . . Y = YES または N = NO
媒体のプロンプト . . . . . 1 または 3
再始動タイプ . . . . . *SYS
その他オプション . . . . . Y = YES
```

注: 個別の PTF および/または PTF グループが保管ファイルとして出荷されていて、累積 PTF パッケージと同時にインストールする場合は、「媒体のプロンプト」のフィールドに 3 を入力します。

6. 下記のオプションが適切かどうか確認し、その下の「注」をよくお読みいただいた上で、「その他の導入オプション」画面でオプションの入力を完了し、Enter キーを押します。

```
Omit PTFs . . . N = No または Y = Yes
適用のタイプ . . . 1 = すべての PTF を遅延にセット
PTF タイプ . . . 1 = すべての PTF
PTF のコピー . . . N = No または Y = Yes
```

注: 前のオプション指定によっては、表示されないフィールドがあるかもしれません。

注: 省略したい PTF がある場合は、「その他のオプション」フィールドに Y を入力し、続いて表示される画面の指示に従ってください。PTF を省略するインストール手順の詳細については、Appendix A のセクションをご参照ください。

7. 画面に、PTF が適用されるライセンス・プログラム名が表示されます。イメージ・カタログにロードされたすべてのボリュームが、自動的に処理されます。
8. 「インストール・プロセスを完了する」のセクションに進みます。

CD メディアからのインストール

この手順は、物理的な CD メディアとして累積 PTF パッケージをオーダーして受け取った場合に使用してください。

1. 次のコマンドを入力して、Enter キーを押します。

```
CHGMSGQ QSYSOPR *BREAK SEV(70)
```

このステップにより、次のボリュームのマウントが必要であることをシステムが感知した時に、必ず中断メッセージが表示されるようになります。重要 -- システムに適用できる PTF が残りのボリュームにない場合は、他のボリュームのマウントを求めるプロンプト画面は表示されません。

2. 使用しているメディア用の適切なドライブに、累積 PTF パッケージ・メディアのボリューム 1 (ラベルは C5063610_01) がロードされていることを確認してください。
3. コマンド行に GO PTF と入力し、Enter キーを押します。
4. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
5. 下記のオプションが適切かどうか確認し、下記の「注」をよくお読みいただいた上で、「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。

デバイス OPTxx (例えば、OPT01)
自動 IPL Y = YES または N = NO
媒体のプロンプト 2 または 3
再始動タイプ *SYS
その他オプション Y = YES

注: 累積 PTF パッケージとともに HIPER およびデータベース PTF グループをインストールするには、「媒体のプロンプト」のフィールドに 2 を入力します。

個別の PTF およびまたは PTF グループが保管ファイルとして出荷されていて、累積 PTF パッケージと同時にインストールする場合は、「媒体のプロンプト」のフィールドに 3 を入力します。

6. 下記のオプションが適切かどうか確認し、その下の「注」をよくお読みいただいた上で、「その他の導入オプション」画面でオプションの入力を完了し、Enter キーを押します。

Omit PTFs . . . N = No または Y = Yes
適用のタイプ . . . 1 = すべての PTF を遅延にセット
PTF タイプ . . . 1 = すべての PTF
PTF のコピー . . . N = No または Y = Yes

注: 前のオプション指定によっては、表示されないフィールドがあるかもしれません。

注: 省略したい PTF がある場合は、「その他のオプション」フィールドに Y を入力し、続いて表示される画面の指示に従ってください。PTF を省略するインストール手順の詳細については、Appendix A のセクションをご参照ください。

7. 画面に、PTF が適用されるライセンス・プログラム名が表示されます。
 - a. 各 CD ボリュームの処理が終了するたびに、次の CD をマウントするようにメッセージが表示されます。指示されたボリュームをマウントして、処理を続行するためにオプション G を入力してください。
 - b. 累積 PTF パッケージの適用可能なボリュームすべての処理が終了すると、自動的に、HIPER およびデータベース PTF グループをインストールするための次のメディア・セットの最初のボリュームをマウントするようメッセージが表示されます。ボリューム・セットの最初のボリュームをマウントして、処理を続行するためにオプション G を入力してください。
 - c. 他のボリュームがあれば、同じようにしてマウントをしてください。ボリューム・セットのすべての処理が終了したら、PTF のインストールを終了するためにオプション X を入力してください。

注: ご使用のシステムに適用できる PTF がボリュームに含まれていない場合、システムはボリュームのマウントを要求するプロンプトを表示しません。

8. 「インストール・プロセスを完了する」のセクションに進みます。

インストール・プロセスを完了する

この手順でインストール・プロセスを完了してください。

1. PTF インストール処理の完了に必要な IPL を受け取っている場合 (エスケープ・メッセージ CPF362E)、以下を実行します。
 - a. システム上のすべてのジョブを終了し、B IPL ソースに対して通常モードの IPL を実行します。
 - b. 「サインオン」画面が表示されたら、ステップ 4 (6 ページ) を続行します。
2. PTF のインストールが終了したら、ステップ 3 (6 ページ) に進みます。特別な PTF のための IPL の確認の画面が表示された場合は、
 - a. F10 キーを押してシステム上のすべてのジョブを終了し、IPL を実行します。
 - b. サインオン画面が表示されたら、ステップ 4 に進みます。

3. 「自動 IPL オプション」に Y (YES) を入力した場合、システムは自動的に IPL を実行します。「自動 IPL オプション」に N (NO) を入力した場合は、パッケージのインストールを完了する準備ができた時に PWRDWN SYS コマンドを使用してください。
4. IPL が完了した後で以下の手順を実行して、累積 PTF パッケージが正しくインストールされたことを確認してください。
 - a. QSECOFR でサインオンします。
 - b. 任意のコマンド行に WRKPTFGRP SF99610 と入力します。
 - c. 「状況」フィールドが「インストール済み」で、「レベル」フィールドが「15063」の場合は、ステップ 5 に進みます。そうでない場合は、ステップ 4d に進みます。
 - d. 任意のコマンド行に GO LICPGM と入力します。
 - e. Enter キーを押します。「ライセンス・プログラムの処理」画面が表示されます。
 - f. オプション 50 を選択します。
 - g. Enter キーを押します。「導入履歴の表示」画面が表示されます。
 - h. Enter キーを押します。「活動記録ログの内容の表示」画面が表示されます。
 - 累積 PTF パッケージが正常にインストールされた場合には、PTF の適用が完了したことを示すメッセージが表示されます。ステップ 5 に進みます。
 - 累積 PTF パッケージが正常にインストールされなかった場合には、PTF の適用が失敗したことを示すメッセージが表示されます。お客様のソフトウェア・サービス提供者 (弊社ビジネス・パートナーまたは弊社営業担当員) にご相談ください。
 - 前回の IPL で異常があった場合には、ライセンス内部コードの PTF のみ適用されます (5761999)。次のコマンドを入力して、前回の IPL で異常があったかどうかをチェックすることができます。

DSPSYSVAL SYSVAL(QABNORMSW)

IPL で異常があって、システム・インストールの直後にこのパッケージをインストールした場合には、残りの PTF を適用するためにもう一度 IPL を実行してください。

5. マシン・コードのサーバー・ファームウェア部分に適用される修正をアクティブにするために、サーバーの IPL の実行が必要となる場合があります。

サーバー IPL 中は、サーバー上のすべての論理区画が同時にシャットダウンします。これによってサーバーのファームウェアが新規レベルになります。

お客様のシステムに IBM i サービス区画が定義されていて、ハードウェア管理コンソールでサーバーのファームウェアのレベルを制御するのではない場合は、マシン・コードのサーバー・ファームウェア部分にインストールした PTF が適用されるために、サーバーの IPL の実行が必要となる場合があります。

ご使用のシステムにサービス区画を運用しているか、また PTF にサーバー IPL が必要かどうかを判断するには、以下のステップを実行してください。

- a. ご使用のシステムがサービス区画であるかを判断するには、以下のコマンドを入力して Enter キーを押します。

DSPFMWSTS

- b. 「ファームウェア状況表示」画面が表示されます。サービス区画のフィールドに No が表示されている場合は、ご使用のシステムにサービス区画は定義されていません。

サービス区画のフィールドに Yes が表示されている場合は、ご使用のシステムにサービス区画は定義されています。

- c. サーバー IPL 要求のフィールドに Yes が表示される場合は、サーバー・ファームウェアへの変更をアクティブにするために、サーバー IPL の実行が必要となります。

サーバー IPL の実行が必要な場合は、サーバー IPL のフィールドに Temporary が表示されていることを確認してください。

サーバー IPL の実行方法については、IBM Knowledge Center (http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ssw_ibm_i_61/rzam8/rzam8fixinstallhmc.htm) を参照してください (IBM i 6.1 > IBM i および関連ソフトウェア > IBM i および関連ソフトウェアの保守管理 > ソフトウェアの修正の使用 > 修正のインストール > 手順 3: 修正のインストールのシナリオを選択する > ハードウェア管理コンソールによって管理されるシステムでの修正のインストール)。

注: ご使用のサーバーに一つの区画しか定義されていなければ、特別なステップを実行する必要はありません。次回の IPL 時に、サーバー・ファームウェアへの変更がアクティブになります。

6. この時点で、通常システム操作を再開することができます。できるだけ早い時期に、もう一度システムのバックアップをとります。

これらの累積 PTF パッケージについてご意見および問題がございましたら、ソフトウェア・サービス提供者 (弊社ビジネス・パートナーまたは弊社営業担当員) にご連絡ください。